



# 植えてはいけないケシをどう存じますか？



園芸用のケシの仲間のポピーなどは、3月下旬から5月にかけて、色鮮やかで美しい花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。ケシの仲間には法律で栽培が禁止されている「不正ケシ」があります。これらは外観の特徴から、園芸用のケシと区別できません。出水保健所管内では、不正ケシが多数自生しており、その多くはアツミゲシ(セティゲルム種)です。

アツミゲシ(セティゲルム種)で、花びらは4枚で薄紫色。(先端は白に近い色)開花期の草丈は50〜100センチ。葉・茎・つぼみなどは緑色で、土壌が良いと枝分かれする。つぼみの周辺に毛がある。葉は付け根で茎を巻き込むようにつく。つぼみは開花時に上を向き、散っても上を向いたまま。繁殖力が強く、果実には微細な種子が詰まっている。

ケシは繁殖力が強く、根絶するまでには10年以上の地道な除去が必要です。令和2年度の出水保健所管内の除去本数は3,234本で、県の総除去本数の29.9%を占めています。

植えてはいけないケシの特徴を知っていただき、似た植物を見かけたときは、そのまま抜かずに出水保健所まで連絡ください。

問い合わせ先  
出水保健所衛生係  
☎(62)1636

## アツミゲシ(セティゲルム種)の特徴

- ①花びらは4枚で薄紫色。(先端は白に近い色)
- ②開花期の草丈は50〜100センチ。
- ③葉・茎・つぼみなどは緑色で、土壌が良いと枝分かれする。
- ④つぼみの周辺に毛がある。
- ⑤葉は付け根で茎を巻き込むようにつく。
- ⑥つぼみは開花時に上を向き、散っても上を向いたまま。
- ⑦繁殖力が強く、果実には微細な種子が詰まっている。



## 県内の不正ケシ除去本数の推移と出水保健所管内の占める割合

